

* 研究授業からの学び *

R4.12.5

No.5

文責 新玉

令和4年 10月5日(水)
西土佐中学校 第2学年 総合的な学習の時間 栗本 健 三石 裕子 下山 歩 教諭
単元名 「仕事発見 ～地域貢献と私の未来～」全70時間
小単元2 「西土佐地域の魅力を多くの人に知ってもらおう」(32時間)

<単元でつきたい力>

- ・地域の産業における課題や取組を知り、それに関わる人々の思いや工夫が分かる。
- ・集めた情報を、視点を定めて整理・分析し、自分の考えを形成する。【知識及び技能】
- ・自分を取り巻く社会の現状を踏まえ、地域や自分の課題を発見し、解決の方法や手順を考え、見通しをもって計画を立てる。【思考力、判断力、表現力等】
- ・探究的な活動を通して、異なる立場、異なる考えを認め、理解しようとする。
- ・課題解決に向けて、目標をもって粘り強く取り組もうとする。【学びに向かう力、人間性等】

本時の目標

アンケート結果をもとに、プレゼンで効果のあった部分と課題を整理し、その要因と改善点を考える。

本時の評価規準

集めた情報を比較・分類し、自分の将来と関連づけて考えている。【思】

本時の情報活用能力

集まった情報を「考えるための技法」を活用して分析する。
批判的客観的に問題を見て、分析する。

本時の授業風景

西土佐の魅力的な場所について写真を見せながら紹介することで、聞いてくれた人達に興味を持ってもらうことができた。



アンケートの内容をもっと具体的に示して、自分たちが知りたいことが分かるアンケートにしよう。

本時の板書



研究協議より(抜粋)

授業者より

- 司会等、生徒が主体的に活動できるような授業を心掛けている。
- 改善を考え、中村中学校での発表に生かしたい。
- 学校の中では、誰かが答えてくれるだろうという甘い考えがあり、人まかせな部分もあったが、今回の発表では自分事として取り組む姿が見られた。
- この活動を通して考えた課題や改善策について、次の中村中学校での発表に生かしていきたい。

参観者より

- 司会、取組等、生徒主体で進行できていた。
- アンケートや改善点など相手を意識した内容だった。
- 自分たちが得た情報を基に各班が分析し、課題、改善策について考えることができていた。
- 分析することで、「アンケートの質問が少ない」等、課題が見えていた。
- 振り返りを見ると、相手の目線で考えることができるようになっていた。
- 分析結果を使って、根拠を基に班の考えを説明出来たらよかったのではないかと。
- 話し合いの視点を明確にすることが大切である。
- 他グループとの共有や意見交流する時間をとるとよいのではないかと。
- 本当の意味で自分のことになっているかは、これからの活動が大切。

指導主事より

- ・「多くの人に知ってもらう、来てもらう」という目的を子どもたちが意識できていたか。
- ・何のための活動なのか、多くの人に知ってもらいたいという学びの目的を明確にして取り組むことが大事。
- ・子どもたちの意見が技術的なものや話し方等になっていたが、振り返りのときには「詳しく分析できる内容にしたい」等、次の発表を意識した記述が見られた。
- ・具体的にイメージしておく、そこにいくための手立てを考えることができる。
- ・多角的、多面的に見るという点では意見交流の場をもつ方法があった。
- ・効果的な資料とは何か、その資料は誰のためなのかを考えさせたり引き出させたりするための教師の手立ては何か等、深く考えておくことが必要。
- ・振り返りは、次の課題にいかせるようにしたい。

授業者のリフレクションより

- ・2年団の教員の打ち合わせをもう少ししておいた方がよかった。
- ・プレゼンをしたイメージによる分析にならなかったのではないかと。
- ・生徒の反応を予想と投げかけの準備を浴う少ししておいたらよかった。

☆これから取り組んでいきたいこと

- * 思考ツールの活用
- * ゴールから逆算した見通しを持った計画
- * 地域の産業に関わる人の話を聞き自分の生活と関連付けて考えられるようにする。